

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川 俣 勝 慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名北茨城市立中妻小学校

担当教諭名 鈴木 洋子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年10月 1日(金) 8:30 ~ 11:30
対象学年と人数	1~6学年 164名
派遣講師名と出身国	○張 辰橋 (中国) ○タスファイエ ガライヤ (エチオピア)
活動の内容	○1・2学年「他国の遊びを楽しもう」 ○3・4学年「クイズやゲームを通して他国の様子を知ろう」 ○5・6学年「他国の文化や行事を知ろう」
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 ・このようなすばらしい講師を派遣していただき、保護者と一緒に児童たちが楽しめたことは本当に有意義な事業であったと職員一同感謝しております。ただ、事前準備をもっと綿密にし、児童の発達段階に応じた学習を組み立てればさらにすばらしい交流になったであろうと、学校側として反省しました。
生徒・保護者等参加者の感想	参加した保護者の感想 ・エチオピアの話をしているとき、子ども達はみんな真剣で生き生きした顔でした。他の国との違いや同じ所を学ぶいい機会だったと思います。 ・海外の人と接する機会はないので、他の国の文化や生活の様子を知る事ができてよかったです。 ・低中高の子ども達に合わせてお話をしてくれました。日本に住んでいても自分の出身国を大切にしている姿が話や態度に表れ、誇りを持って生活しているなと思いました。
先生の感想	・中国の講師は、たいへん明るく丁寧であり、しかも積極的に子どもと関わってくれました。中国の遊びも実演しながら子ども達に教えてくれたので、子ども達は夢中で楽しんでいました。自国の文化もクイズ形式にして工夫し、楽しませてくれました。 ・エチオピアの講師は、中学年でも高学年でも同じ内容の説明だったので、中学年には難しくて発達段階に合わなかったのが残念である。 ・ワールドキャラバンは、どのような講師との巡り会いがあるのかたいへん楽しみに待っていました。児童と共に楽しむことができました。

